

## 一般質問



### 町内会長と行政推進員について

桐井 信征 議員

**町長** 地域づくりに大切な事は「地域住民のため」ばかりでなく「地域住民の手によって」行われることである

#### 3期12年を通して実現できた事、やり残した事は

12年前、初当選され、町長は様々な政策の実現、町民との融和を図る各種イベントの参加の呼びかけ、早期健全化団体の4つの指標を見事にクリアされ、健全化に向けた行政指導は高く評価する。3期12年を通して、町長が政策及びやりたいと思っていた事はどの程度実現出来たと思うか。また、やり残したと思う事はあるのか伺う。

**町長** 自身の政策をどの程度実現できたのかと言うことに、本人が何%達成しましたとは答える事はできないが、「目標に向かって前進し続けて参りました」とは自信を持って答えられる。

やり残したと思う事はあるのかという質問については、やり残したというのではなく、「活力に満ちた美しいまち」の実現の為に、私たちは「自立自尊」の気持ちで自分たちでコミュニティを築いていかなければならないと思うので、自分は何もしないけど安心して美しい町は欲しいと願う人ばかりでは、地域コミュニティは持続しない。北海道144の町村は連携し協力し合って、それぞれが自立して発展する為に、これからの当別町の議会も理事者も活動し続けていきたいと願っている。

#### 町内会長と行政推進員への各種団体からの人選依頼について

町は行政推進員制度を取り入れているが、40の行政区のうち、39の行政区で町内会長が行政推進員を兼務している現状にある。3月29日に議会報告会を開催し、懇談の中で町内会長から様々な意見を伺った。懇談の中で行政や諸団体から委員の人選依頼が多くあり、対応に苦慮している話が出た。町や関係している団体で、町内会へ人選をお願いしている数はどのくらいあるのか。

また、町の公式行事への参加依頼など、高齢化が進み、人選にも苦慮している町内会にとって、これらのことが負担となって町内会役員の担い手がいないという悩みを聞いた。町を維持していく基本単位である町内会の負担軽減を図るべきと考えるが、町長の考えを伺う。

**町長** 当別町のまちづくりを進めていくうえで、防災、防犯、高齢者支援、交通安全など身近で大切な課題が数多くあるが、これらの課題を解決していくため、行政推進員、保健推進員や民生児童委員の各委員を町内会に推進依頼し、協力を頂いているところである。また関係団体では当別町社会福祉協議会の福祉委員や当別町交通安全推進委員会の交

通安全実践委員、日本赤十字社の協賛委員などがある。そして、地域の課題を解決していく町民と行政の協働のまちづくりを推進するため、町内会活動をサポートする地域担当職員制度を平成21年度に創設し活用していただき、町内会は、地域住民の交流と親睦を深めながら明るく住み良い地域づくりを目指し、自主的に組織され、年間を通し様々な活動を繰り広げている。このような中、町内会会長の町内会の負担軽減を図ることが最良とは思っていない。私は住民参加の行政を推進しており、地域づくりに大切な事は「地域住民のため」ばかりでなく、「地域住民の手によって」行われることである。



多くの町内会長さんに参加を頂いた議会報告会



本当に必要なところに町民の声を聴いて、手立てを尽くした上での健全化になっているのか

渋谷 俊和 議員

### 町長 町の健全化に関わる質問はすでに答弁済みである

憲法問題について、天皇を元首とするとか自衛隊を国防軍になど、憲法についての論議を賑わしまた、改正の国会発議も3分の2から半数の賛成にと切り下げる条件緩和の声まで出ているが、私は泉亭町政の中で憲法を擁護する立場から質問する。

これは平成23年6月議会でも取り上げたがスウェーデン大通橋にSGI会長池田大作名の入った町作成の看板について、前回の答弁は町に対する貢献者とか金額も小額なので問題無いということだったがそれでは

1 金額の問題かそうだとしたらその基準は  
2 貢献された方が基準としたら、同じくどのような貢献をされたら名前を表示するのかその基準は  
同時に役場職員（公務員）も憲法を守る立場が義務付けられているが、誰一人として町長に疑問を述べた者がいなかったのか。いずれにしても早急にその名前部分は外す処置を取るべきだと思うが町長の見解を伺う。

次に人間らしく生きる権利の基本になっている衣食住の住の問題、町営住宅について伺う。何回か取り上げているが改善されていないので改めて伺う。

もみじ団地から現場を見て欲しいと呼ばれ写真も撮ってきたが、天井も落ちて隙間ができ、ぶら下がっており、集合煙筒は外に煙や

火が出るほど崩れ落ちている。窓ガラスの枠が腐ってガラスを止めるサンに釘が効かないため、ゴワゴワの状態、冬は寒くてとても住めないのではなんとか秋までに直して欲しいと集まった4人の方が口々に言っていた。

次に除排雪問題です。多くの住民は3回目の除排雪費が自己負担になってからむしろ悪くなっているという声が町民から寄せられている。人口減少対策とも密接に関係する。

札幌圏の中でも当別町は除排雪が行き届き安心して住むことができるという評判が立てば少子高齢化社会だが、自然豊かで除排雪を含めて安全安心の町、当別をアピールできる。

将来を担う子どもたちの問題で、西当別のプールを廃止したが、復活させることが大事ではないか。財政健全化だが、本当に必要なところに町民の声を聴いて、手立てを尽くした上での健全化になっているのか。無駄がないのか、自ら身を削る努力が見えてこない。この点町長はどう考えているか伺う。



ガラスの枠が腐り釘が効かない



崩れ落ちている集合煙筒

町長 スウェーデン橋のプレートや町営住宅についての質問について、この件は平成23年6月の第3回定例会の質問と同じであり、あの時点で、誠心誠意答弁した通りで日本国憲法に抵触するような重大なことは一切ないので、私の見解は変わらない。

町の財政健全化に関わる質問もすでに答弁済みなので、議事録や議会だよりで確認して下さい。



## まずは、公共施設でもっと美化、環境運動をすべきである

島田 裕司 議員

### 町長 公共施設周辺住民の方々の協力などで美化活動も必要と考える

#### 美しい町づくり政策の検証について

美しい町づくり条例を制定している町なのに公共施設などは花一つ植えられていなく残念である。特に町内外の人が多く来庁される役場庁舎は、町の顔とも言えるので、花などを植え花の町をPRすべきである。その他、総合体育館周辺の白樺コミセン、旧和風庭園、ゆとろ、商工会の前のふくろう図書館、西当別コミセンなども花が植えられてなく、非常に殺風景である。また、当別駅南口の自転車置き場の屋根の腐食が進んでいたり、太美駅前の自転車置き場の駐輪止めも非常に錆びている。旧青少年会館、現プレイハウスも駐車場後地は草が生えている状況である。

これらの公共施設については、もっと積極的に環境美化に対する運動を町がすべきでないのか伺う。

**町長** 当別町財政運営計画、当別町協働の指針、当別町ゴミ減量化アクションプラン、当別町景観計画など、20以上の計画・プランを策定した。すべての計画は、担当課でプランの原案を作成し、部内で検討、必要に応じて町民から意見を聴き、役場内の政策調整会議や政策評価本部会議などで

最終的に決定・予算化し、議会の審議を経て執行する行政スタイルなので、私が一人で何かを独断的にやるということはまったくない。美しいまち当別をみんなで作る条例も、当別の「自然の恵み」と「開拓の営みによる当別の固有の生活文化」による魅力的な景観は貴重な財産であり、美しい姿で後世に引き継ぐ責任を町民一人ひとりが主役となって進めていく条例を制定し、また当別町景観計画を策定している。したがって、公共施設などハードを優先的に環境整備するというのではない。

しかし、公共施設はこの12年間ほとんど町職員のボランティアだけの手入れしか出来ず、今後は町の公共施設も外観や周辺整備が必要な所が相当あると思うので、公共施設周辺住民の方々の協力などで美化活動も必要と考える。

#### 学校教育において青少年を派遣する場合、もっと支援をすべきである

中高生をはじめとする、スポーツ、文化活動、国際交流などの派遣に対する財政的支援をもっと積極的に行うべきでないのか。

当別町は、他の市町村と比べて積

極的に支援していると言われるような、町独自の支援体制を作ってはどうか。また、レクサンド市に中学生を派遣する事業は、平成13年に10名を派遣して以来11年間止まっている状況である。このことは、町の財政的な問題なのか、それとも交流事業の見直しを検討しているのか。レクサンド市側は青少年の相互交流を熱望していると聞いているが、なぜ実施しないのか伺う。最後に今年の11月に当別高校の生徒と教師がレクサンド高校に相互交流事業として行くと新聞報道されたが、町はどんな支援をするのか。私は何らかの形で支援すべきと思う。

**教育長** 日本中学校体育連盟または北海道中学校体育連盟が主催する全国・全道大会の運動競技及び文化活動に参加する中学生に対し、参加経費を補助しており、交通費及び大会参加費については全額補助、宿泊費は実費の2分の1以内としている。当別町の児童生徒が学力とともに、豊かな心や困難に負けたくないまじしい心、体づくり、スポーツや文化活動の技能を身に付け、高めることは大切なことと考え積極的に支援している。

レクサンド市との相互交流について、まずは、レクサンド市との提携・交流やレクサンド市のことを知ってもらうことが大切と考え、昨年レクサンド市訪問後、訪問によって得られた新しい情報を取り入れた資料やDVDを作成し、各学校に提供した。各学校において、レクサンド市の学習や外国人との交流等を通した国際理解教育を進めながら、当別町とレクサンド市との提携・交流を充実していく環境づくりに努めている。

なお、当別高校とレクサンド高校の初めての、青少年の相互交流について、町の人材育成基金を活用して助成する方向と聞いており、教育委員会としては、当別・レクサンド都市交流協会や町の関係部局などと連携していきたいと考えている。



花が少なく殺風景な役場庁舎